

## 12. 自由記述欄（主な意見、ヤングケアラーに関わる意見のみ）

### （1）小学生

【問12でお世話をしている人が「1. いる」と回答した児童のみ（回答数：23人）】

分類項目	自由回答
<p>要望 (11人)</p>	<p>○カウンセラーの人や、区役所の人、学校の先生たちが、このアンケートのようにどんどん訊いていったほうがいいと思う。（小学5年生）  ○助ける人の職業をつくること。（小学5年生）  ○ほかの人がどう思うかはわからないが、個人としては何もしないのが一番いいと思う。つらいと言われたら対処してあげればいい。（小学6年生）  ○ヤングケアラーの人には、自分の時間を作れるようにしてほしい。そのために、ヤングケアラーがやっているお世話を代わりにやる人が必要だと思う。自分は困っていない。（小学6年生）  ○家に住んでいる人はどのような人かを、区役所側が把握していると思います（特に老人や障害者や発達障害の子など）。そして、1週間や1ヶ月の頻度で家庭に、子供だったら児童保健所が来て、老人などは介護の人が来ればいいと思います。（小学6年生）  ○子供たちが自由に暮らせるように、ただでも預かってもらえるところを作ったりする。（小学6年生）</p>
<p>悩み (6人)</p>	<p>○たまに友達から悪口を言われる。（小学4年生）  ○学校での友達関係がうまくいってない事が悩みです。（小学5年生）  ○私は家族のお世話などをしていない。大変な子はスクールカウンセラーがあるから相談できるけど、スクールカウンセラーに行く時、授業をサボっていると勘違いする人がいると思って、行けない子がいるんじゃないかと思います。だから、授業などでなんでも相談できる場所などを作ってみたらいいと思います。それと、各学校にお悩み相談BOXみたいなものを作って、そこの中に書いてあるお悩みを解決して、名前は出さないで学校の手紙に出してみるなどしたら、似てるお悩みの人も解決できると思います。（小学5年生）  ○特に不安はありません。ただ妹に治ってほしいなと感じることがあります。（小学6年生）</p>

【全員（回答数：176人）】

分類項目	自由回答
<p>(家族や親戚以外の)周りの人の支援 (71人)</p>	<p>○親が英語しか話せない時に、誰かが教えて欲しい。(小学4年生)          ○友達や学校の先生や児童館の周りの人に相談したら良いと思いました。(小学4年生)          ○もし家族にヤングケアラーがいなくても、困っている人がいたら助けてあげたい。(小学5年生)          ○ヤングケアラーの人たちが安心して相談できる場所をもっと作ったり、相談しに来た人にサポーターを付けたらいいと思う。(小学5年生)          ○子どもがいなかったり、成人したりして子どもを育てていない人が、代わりに親になってあげるようなことがあれば、ヤングケアラーの子どもも安心できると思った。(小学5年生)          ○ヤングケアラーということを知って、周りの人に話す事は大切だと知りました。周りにそういう友達がいたら、大人に相談できる事を教えてあげたいです。(小学6年生)          ○ヤングケアラーの子が居たら、少しでも力になることをしたい(心がけたい)。(小学6年生)          ○家族の代わりにお仕事をしてくれるベビーシッター的なのがあればいいと思う。(小学6年生)          ○少しでも負担を減らせるように、話を聞いたり、本人がいやでなければ手伝ったりする。(小学6年生)          ○障害や病気の人のお手伝いさんみたいな人と、子供が気軽に頼れたり話したりできる場所を作る。(小学6年生)          ○相談をすることが大切だと思います。あと、その相談をちゃんと聞いてアドバイスとかその相談に乗る人が居ることが大切だと思います。(小学6年生)          ○第3者の介入。(小学6年生)</p>
<p>周知・声が上げやすい雰囲気醸成・相談しやすい環境 (21人)</p>	<p>○ヤングケアラーがいたら、助けてあげたいし、たくさんその子の悩みを聞いてあげたい。その子に寄り添ったり励ましたりその子の家に行って、家事を手伝ってあげたい。悩みを相談できる人はいるけど迷惑をかけたくない、相手の時間をとりたくないなどの理由で、相談できないことも多い。なので一人で辛いことを抱えこんでいる。でも友達がいるので少しは辛い気持ちはやわらぐ。私と同じような気持ちの子もいるかもしれない。なので私のような辛い気持ちはさせたくない。だからたくさん人の気持ちを聞いて相談にのってあげたい。(小学4年生)          ○子供に負担がかからないように、なんでも言える、すぐに助けてあげられる環境が必要だと思う。(小学4年生)          ○いろいろな人が、ヤングケアラーのことを知れるように、ポスターなどを貼り、辛い時は、みんなで協力できるようにする。また、気軽に相談できる場所があることを知ってもらえるように、学校の朝礼などで話す。(小学5年生)          ○友達や家族のことを「あれ？」っと思っていても、それを誰かに気軽に相談出来る環境が整っていないと思う。(小学5年生)          ○ヤングケアラーであることを、そのヤングケアラーが隠しているのなら、いち早く知ってもらおう努力をする。(小学6年生)          ○自分はそうではないが、毎日のように家族の世話をし、自分のやりたいことにかかる時間が減ってしまっている子供がいると知りました。そういう子供は、普段の生活を我慢しながら過ごしていると思うので、相談できる場所があることを知ってもらいたいです。このような調査をすることで、悩みが楽になる子もいると思うのでとてもいいなと思います。このような働きかけを続けていくことで、新しい対策や発見があると思うので続けてほしいと思いました。自分は、好きなことができて恵まれていると思うし、友達にそういう子がいたら相談できる場所があることを教えてあげたいです。(小学6年生)</p>

分類項目	自由回答
アンケートに対して (20人)	<p>○このアンケートに自分の悩みを話せてよかったです。ほかの区、例えば墨田区などにもヤングケアラーのアンケートをしてみたらどうでしょうか。(小学4年生)</p> <p>○このアンケートを通して、友達や、家族をもっと大切にしたいなと思いました。(小学4年生)</p> <p>○私たちのためにアンケートを作ってくれて、ありがとうございます。少し心が楽になりました。(小学4年生)</p> <p>○私は特に妹のお世話を大変とっていませんが(逆に楽しいです)、自分の時間を削ってお世話をしている子供がいると言うことがこのアンケートで改めて気づきました。(小学4年生)</p> <p>○このアンケートを通して、身近になくて、あまり考えたことのないヤングケアラーのつらさを考えることができ良かったです。私ができることは数少ないけれど、相談に乗ることはできると思うので、少しでも協力したいと感じました。(小学5年生)</p> <p>○自分も高学年になって、死とかそういうことも考えるようになって、ときどき情緒不安定になることがあるのでこういう取り組みがあるとちょっと安心します。ありがとうございます。(小学5年生)</p> <p>○こういうアンケートを定期的に日本中に発信して、ヤングケアラーの人を見つけて、学校側ができるだけの処置をする。だから、こうやってアンケートを取るのものはものすごく良いと思う。これからも続けてほしいと僕は思う。区役所は、さっきも書いたが見つけたら、できるだけその人に適した処置をしてほしいと僕は思う。(小学6年生)</p>
介護サービスの利用 (19人)	<p>○お年寄りの家に声を掛けに行く。(小学4年生)</p> <p>○そういう家庭環境の人には、無料で介護士などを付けて欲しいと思います。(小学6年生)</p>
国や自治体の支援 (16人)	<p>○ヤングケアラーについては大人や国からの助成や助けが必要だと思います。よく調査をし、どれだけのヤングケアラーがいるかを把握して、対策を練り早急に解決していくべきと思う。(小学4年生)</p> <p>○ヤングケアラーの子をお手伝いをしてくれる大人を増やしてほしい。(小学6年生)</p> <p>○国や区市町村から支援金、または支援者を出す。(小学6年生)</p>
施設や設備の改善 (15人)	<p>○ヤングケアラーの人も楽しく遊んだりできる施設。(小学4年生)</p> <p>○お世話している子供のための施設などを作ったら良いと思う。こういうアンケートをもっとやって、困っている子供を助けたら良いと思う。(小学5年生)</p> <p>○ヤングケアラーが集まる場所を作る。(小学5年生)</p> <p>○脳に障害がある人が入れる作業所(働ける場所)や生活ができる場所、障害者のための学校を台東区内に作ってほしいです。(小学6年生)</p>
支援金や補助金などのお金の支援 (14人)	<p>○病院に関わるお金を安くする。(小学5年生)</p> <p>○ヤングケアラーの援助をするために、区として資金などを出すことが必要だと思う。(小学6年生)</p> <p>○時間やお金の支援。(小学6年生)</p>
ボランティアや支援団体の設立、支援など (13人)	<p>○「ヤングケアラーの人は自分の時間があまりない」ということについて、ヤングケアラーの団体を作り、交代で助けたらいいと思います。(小学5年生)</p> <p>○ボランティアなどで、ヤングケアラーの人をサポートする。(小学6年生)</p> <p>○ヤングケアラーの手伝いをする派遣会社を作ればいい。(小学6年生)</p> <p>○子供だけじゃ難しいことなどを手伝ってくれるボランティアみたいなのが必要だと思う。(小学6年生)</p>

分類項目	自由回答
学校の支援 (10人)	<p>○宿題はできる時にさせてあげるとかしてほしい。 ヤングケアラーという言葉を知ることができた。(小学4年生)</p> <p>○家族の世話をしている子供やヤングケアラーは、やはり、『勉強』というものが重要だと思う。『勉強』を皆ができるようにするために、学校に行かせるのが大切だと思う。しかし、お金がなくて学校に行けない子供もいる。だから、学校費はなくていいと思う(あるとしても、200円ぐらいでいいかと思います)。(小学5年生)</p> <p>○学校で保護者の個人面談だけでなく、生徒の個人面談をやる。(小学5年生)</p> <p>○授業にだけでも参加できるようにパソコンを支給してあげる。(小学5年生)</p>
家族や親戚の支援 (10人)	<p>○子供がやるのではなく、親戚の人などに相談して手伝ってもらえばいいと思います。(小学5年生)</p> <p>○一人が負担にならないように、みんなで分担して家事などをやったらいいと思う。寝る時間やご飯を食べる時間は、ちゃんと確保するべきだと思う。(小学6年生)</p> <p>○大人がしっかりやるべきことだと思う。だけど、家族で大変なら違う人(身近の人)に相談するべきだと思う。(小学6年生)</p>
区へのお願い (6人)	<p>○おばあちゃんやおじいちゃんが具合悪くなった時に、直ぐに救急車が来なくて大変だったから、すぐに来てくれるようにしてほしい。(小学4年生)</p> <p>○子供がやっていたりしているところに区役所がボランティア活動としてやってほしい。(小学6年生)</p>
物の提供 (1人)	<p>○介護してくれる人が必要だと思います。それとお世話をする人に必要な物をあげればいいとおもいます。(小学5年生)</p>
電子媒体を用いた相談 (1人)	<p>○本当に助けて欲しい時に気軽に相談しやすい場所があることを、子供たちにもっと知らせるべきだと思う。○○カウンセラーとか○○委員とか子供との距離間が遠い。私は初めて聞いたものもあるし、どこに何を相談するのか知らない。身近に相談出来る場所は必要だが、オープンに言える子だけではないと思うので、LINEとか文字での活用もあると良いと思う。やらなくてはいけない生活の中で自分を我慢することが当たり前のように生きていることを周りに心配されたくないような複雑な気持ち、それを友達や近所に知られたくないとかあるかもしれない。本当に困ってる人への支援が届いて欲しいと思います。(小学4年生)</p>
感想 (19人)	<p>○ヤングケアラーの人たちにも楽になる「自由」というものが重要だと思う。(小学4年生)</p> <p>○今までヤングケアラーという言葉は知っていましたが、意味は、分かりませんでした。でも、これを見て、意味が分かってよかったです。(小学4年生)</p> <p>○私には介護が必要な家族がいないので分かりませんが、そういう人が少なくなるとういなどと思いました。(小学4年生)</p> <p>○かわいそうで、大変だと思う。まわりの人に助けてもらおうとヤングケアラーはうれしくなると思う。自分はヤングケアラーではないので嬉しい。(小学6年生)</p>
その他 (17人)	<p>○ヤングケアラーになってる家庭に行ったほうがいいとおもいます。(小学4年生)</p> <p>○ヤングケアラーの子のために、少し休む時間を長くしたり、友達と関われる時間を作ったほうがいいと思う。(小学6年生)</p> <p>○ヤングケアラーの負担を減らすような取り組みをするべきだと思う。(小学6年生)</p> <p>○差別をしないでほしい。(小学4年生)</p>

## (2) 中学生

【問12でお世話をしている人が「1. いる」と回答した児童のみ（回答数：16人）】

分類項目	自由回答
要望 (11人)	○相談できる場所があるだけでは悩みを話せない人もいるから、悩みを聞きに行く活動があっても良いと思う。（中学2年生） ○もっと勉強する時間が欲しいので、両親が子供に習いごとができるよう、習いごとの助成（券）があればいいなと思う。そうすることで、妹が有料で遅くまで面倒を見てくれる学童にすることができ、私も勉強に集中できる。（中学3年生）
悩み (1人)	○健康面と感情面。（中学3年生）

【全員（回答数：136人）】

分類項目	自由回答
(家族や親戚以外の) 周りの人の支援 (54人)	○ヤングケアラーで悩んでる人がもし周りにいるのだったら、しっかり聞き役になって、少しでも相手の気持ちを楽にさせてあげることが大切だと思います。決して問い詰めたりすることもなく、相手の気持ちに寄り添って、悩みをしっかりと聞いてあげることが大切だと思います。（中学1年生） ○ヤングケアラーの子供達は、周りに相談したくても、しにくいと思うし、中々打ち明けにくいと思うので、ちょっとでも「なんか周りと違う？」などと思ったら、少しずつでもいいからその子に寄り添っていくことが必要だと思うし、周りも自分もそのようなことに気をつけていくことが大切だと思う。（中学1年生） ○家族のお世話をしている子供は、自由や休息などがほぼないと思うので、他の人に相談して自由な時間や休息を作るのが必要だと思います。（中学1年生） ○そんな世話をしている子供や、ヤングケアラーのことを支えられる人、メンタルケアなどできる人が必要だと思う。（中学2年生） ○ヤングケアラーの心と体の健康を気にかけること、周りの人があの人がヤングケアラーということを知っていて手助けすることが必要だと思います。（中学2年生） ○ヤングケアラーの方が身近にいるかどうかを探す（詮索するという意味ではなく、普段の会話などで考える）。その方に対して、できるだけ相談してもらえよう関係を築く。（中学2年生） ○ヤングケアラーは確かに大変そうだと思う。それでもやっぱりヤングケアラーはあってはならないとは正直決めつけられない。自分がヤングケアラーじゃない以上、その人のことをどうこう言う権利はないと思うから。ヤングケアラーの親が100%悪いとも思いたくない。必要だと思うのは大変だと決めつけるのではなく、あくまで普通に接してあげるのがいいと思う。もちろん本人が「悩みを聞いてほしい」と言えば相談に乗ってあげることも大切だと思う。（中学2年生） ○子供の頃から家族のお世話は大変だと思うけど、悩みの相談だけでも友達やスクールカウンセラーに行ったりした方がいいと思う。（中学2年生）
支援金や補助金などのお金の支援 (19人)	○安い料金（できれば無料）で家事が出来る大人にお願いできるようにすれば、一人で抱え込むことがなくなると思いました。（中学3年生） ○区や都から金銭の援助、児童相談所やその他施設等から生活のサポートが充実すればよいと思う。（中学3年生）



分類項目	自由回答
<p>周知・声が上げやすい雰囲気 の醸成・相談しやすい環境 (16人)</p>	<p>○そういう悩みを持っている子たちが、気軽に相談に行ける・できる環境をつくる。家族のお世話で忙しい人もいるだろうから、簡単に行けないかもしれないけれど、こういうアンケートや専門家の方と直接話す機会を増やして(年に一回など)、少しでも打ち明けられる機会を増やす。(中学1年生)</p> <p>○やりたくて自ら行う人はそう多くないと思うので、学校で隠さないといけなかったり、一人で悩み、苦しまないように、生きやすい環境や雰囲気をつくってあげることが大事だと思いました。(中学2年生)</p> <p>○ヤングケアラーである人が、もっと周りに助けを求めやすい社会になってほしい。また、そのためにも、ヤングケアラーについて知る機会を増やしてほしい。(中学2年生)</p> <p>○ヤングケアラーの子で、なかなか自分から相談ができず1人で抱えてしまう子も多いと聞いたので、相談をしやすい環境を作るべきだと考える。1人でもそういう子を助けてあげられるように、その子にとって「なんでも優しく相談に乗ってくれて、頼りになる人」に自分も少しずつ変わっていきけるようにしたい。(中学2年生)</p>
<p>学校の支援 (13人)</p>	<p>○学校でヤングケアラーについての講義や授業を行うことで、自分がヤングケアラーであると気づく機会をつくってほしい。そうでない子も、ヤングケアラーの子を理解してほしい。(中学1年生)</p> <p>○自分の友達に、ヤングケアラーではないかもしれないけど、親が忙しくて家の家事をすべてやっていて、そのせいで時々学校に遅れてしまったりしている子に、自分は何もしてあげられないから、なにか助けられるようなことをそういう子にしてほしい。(中学1年生)</p> <p>○学校側がもしヤングケアラーの事を理解しているならオンライン授業をしてあげたりする事が良いと思う(中学2年生)</p> <p>○ヘルパーを雇ったり、もしそれが出来なかったら、他人が人の生活に不可侵に干渉はできないから、できる限りヤングケアラーの同級生に学業などの支援が必要だと思う。(ヤングケアラー用の補習塾など)(中学3年生)</p>
<p>施設や設備の改善 (13人)</p>	<p>○障害のある人が暮らす施設を作ったり、ギャンブルやアルコールの問題で悩んでいる人がいたら、親身に寄り添い、悩みを聞いてあげたりする。ヤングケアラーへの支援もあるとヤングケアラーの人が助かると思う。ヤングケアラー専用の相談所なども設けるといいと思う。(中学1年生)</p> <p>○ヤングケアラーとは関係するか分かりませんが、学校に行けない人が気軽に居場所を増やして頂きたいです。(中学3年生)</p> <p>○助けるために人を派遣したり、無料までいかになくても、少ないお金で入れる介護施設、老人ホームを普及させる。ヤングケアラーになってそれによって自分の命を絶ってしまう人や、自分の家族の命を奪ってしまう事件などもあるから、そのようなことが起きないようにすることの前に、その人たちにづらい思いをさせない環境をつくるべきだと思います。できるだけ負担をかけずにお世話をできる環境を作って欲しいと思う。少子高齢社会の今、きっと今後もっとこのような問題が多くなるから、もっと真剣に向き合って、良い人を悪の人に変える環境をなくすべき。(中学3年生)</p> <p>○気軽に相談出来る場所を作る！例えばカフェのような雰囲気の誰でも入りやすいところ！！(中学3年生)</p>
<p>国や自治体の支援 (11人)</p>	<p>○お世話をしている本人は、それがヤングケアラーだということに気づいてないと思うし、気付いたところでまだ子供なのでどうしたらいいかわからないし、自分が何か助けを求めたら、その先がどうなるのか心配になるから、国がもっと介入して手を差し伸べるべきだと思う。(中学3年生)</p> <p>○まずは近くの大人が気付いてあげること。そして、気付いた時には、国や自治体の支援が必要だと思う。(中学3年生)</p>

分類項目	自由回答
介護サービスの利用 (10人)	<p>○お世話が必要な人の介護などを、少しでも手伝えたりできる大人がいたら、ヤングケアラーの子供にも勉強をさせたり、宿題や友達と関わる時間ができるのではないかなと思います。(中学1年生)</p> <p>○中学受験をした時に、周りの友達は放課後に遊びに行っているのに自分は塾へ行かねばならず寂しかったのですが、それに近いことで、周りより自由が制限されるのは悲しくなります。ヤングケアラーの方々も、そういう思いをしているのかと思いました。勉強のように、その人がやらねばならないことではないので、ヘルパーさんなどを少しの頻度でも送ってもらえると心強いのかなと思いました。(中学2年生)</p>
アンケートに対して (9人)	<p>○こまめにアンケートをすることが大切だと思います。(中学1年生)</p> <p>○やってほしいことは、もっとこのような仕事があり、どのような内容などかを知る機会が欲しいです。また、その仕事にはどのようなメリット、デメリットがあり、どのようなやりがいを感じているのか、その仕事をしている当事者の方達からのお話を聞いてみたいと思いました。感想として思ったことは、このアンケートは本当に危機的状況にいる子供達には届かないのではないかなと思いました。そのために任意で義務教育である小学校と中学校に、直接アンケートを実施していただくことはできないのかと感じました。(中学3年生)</p>
区へのお願い (5人)	<p>○オンライン授業などをして、家でも授業を受けられる仕組みがもっと充実してほしいです。子供のための政策も、もっとしてほしいです。観光客が多すぎて、困ることがあるのでどうかしてほしいです。(中学2年生)</p> <p>○答えることで何かに使って頂けるなら嬉しいです。ただ、私や両親、家族共々、中々台東区のホームページ等は見ないので、何か区民への呼びかけがあってもホームページ記載のみだと伝わらないと思います。今回のような封筒なら確実に開くので、何か区民に伝えることができるのなら、文面の方が良いような気がします。(中学3年生)</p>
ボランティアや支援団体の設立、支援など (4人)	<p>○安い料金(できれば無料)で家事が出来る大人にお願いできるようにすれば、一人で抱え込むことがなくなると思いました。(中学3年生)</p>
物の提供 (1人)	<p>○お弁当の配布。(中学3年生)</p>
感想 (10人)	<p>○ヤングケアラーの子たちが幸せになれるような世の中になればいいなと思った。(感想)(中学1年生)</p> <p>○ヤングケアラーの子は、自分のために取れる時間が少ないから、せめて学校のときは一緒に楽しい生活を送ってほしい。(中学1年生)</p> <p>○質問の意図と違う答え方をしてしまったかもしれませんが、申し訳ありません。自分はいとこの世話などをしますが、大変だと思ったことはありませんし、逆に凄く楽しいので自分はこの生活に満足しています。(中学3年生)</p>
その他 (13人)	<p>○共感すること。話にのる。過度な心配をしない(やりすぎた行動)。(中学2年生)</p>

### (3) 高校生相当年齢

【問12でお世話をしている人が「1. いる」と回答した児童のみ（回答数：7人）】

分類項目	自由回答
要望 (6人)	○相談に乗る、適切な人を配置する。（高校1年生） ○気軽に行けるカウンセリングの設置が必要だと思います。なかなか家のことを他人に話すことができませんが、専門家の人にならそれを話せると思うからです。この様なアンケートを続けて欲しいです！（高校2年生）
悩み (1人)	○もっと弟自身できちんとやって欲しい。（高校2年生）

【全員（回答数：83人）】

分類項目	自由回答
(家族や親戚以外の) 周りの人の支援 (26人)	○ヤングケアラーの子達の見解により一層耳を傾けてあげるべきだと思う。ケアに精一杯で人に聞いてもらうチャンスがない子も少なからずいると思ったから。（高校1年生） ○子供が自分から「助けて」と言うのは難しいし、どこに言えばいいのかわからないので、気付いた周りの大人が助けてくれるところに知らせてくれるといいと思う。（高校1年生） ○気軽に相談やたわいもない話ができる周囲の人たちが必要なのではないかな。たわいもない話ができるだけでも心のよりどころになれるだろうと思う。アンケートはそんなに時間もかからなかったので、やって良かったと思う。（高校2年生） ○私の回りにはいないと思うけど、分からないだけなのかなと思ったりします。お友達で何か変だなと思ったら先生に話してみます。あと、うちの地域は保護者同士も仲良しなので親に話して、学校や区役所に連絡をしてもらうこともできると思う。保護者や地域、近所の人などからの情報ももらえるようにするのいいと思います。（高校3年生）
周知・声が上げやすい雰囲気 の醸成・相談しやすい環境 (21人)	○ヤングケアラーの人だけでなく、その他の施設などの従業員なども加えて、家族のお世話をしたら負担は減ると思う。また、相談しやすい環境を作ること。（高校1年生） ○ヤングケアラーの人は、その生活が当たり前になってしまっていることによって、それが普通とは違うということにさえ気づかないこともあると思う。当人に自覚させ対策を講じていくために、またヤングケアラーというものを知る人を増やすために、さまざまな場面で周知していく必要があると考える。（高校2年生） ○ヤングケアラーは、ニュースなどで聞いたことがあります。割合的には少ないと感じます。なので知っている人は少ないと思います。高校生、若い世代を中心に知ってほしいと思います。ヤングケアラーについて知ってもらう取り組み、何かやっていたら良いと考えます。（高校3年生） ○学校の、家庭環境への理解、把握。国の援助金、代理介護環境の提供。相談場所についての知識をもっと詳しく提供する。（金額や場所、電話番号、どのような人を受け入れているか等）。（高校3年生）
支援金や補助金などのお金の支援 (18人)	○学校のレポートでヤングケアラーのことを調べました。周りが気がつかないと手助けのきっかけもありません。あと余計なお世話にならないよう、やってほしくない手助けを教えてください。寄附の窓口を作ってください。（高校2年生）